

## II 特別支援学校の職業教育・キャリア教育の研究・開発事業報告

### 特別支援学校の職業教育・キャリア教育の研究・開発事業

#### 特別支援学校キャリア教育検討委員会

##### <委員>

岩井 雄一	十文字学園女子大学 教授	学識経験者
箕輪 優子	横河電機 経営監査本部CSR課	学識経験者
若杉 哲文	都立村山特別支援学校 校長	専門委員
田添 敦孝	都立光明特別支援学校	統括校長
平塚 直樹	都立大泉特別支援学校	校長
沖山 孝枝	都立城南特別支援学校	校長
加藤 洋一	都立八王子東特別支援学校	校長
三浦 浩文	都立墨東特別支援学校	校長

##### <作業部会>

内藤 淳一郎	都立大泉特別支援学校	教諭
西村 聡子	都立城南特別支援学校	主任教諭
座波 清治	都立八王子東特別支援学校	教諭
原川 健一郎	都立光明特別支援学校	主任教諭
林 功司	都立墨東特別支援学校	教諭

## Ⅱ 特別支援学校の職業教育・キャリア教育の研究・開発充実事業報告

### 1 都立肢体不自由特別支援学校のキャリア教育

東京都教育委員会では、「肢体不自由特別支援学校におけるキャリア教育の充実」(平成23年3月)において、肢体不自由特別支援学校のキャリア教育について、次のように定義しています。

「肢体不自由特別支援学校におけるキャリア教育とは、児童・生徒一人ひとりの状況に応じて、特別支援学校高等部卒業後の生活を視野に入れ、「自立と社会参加」を目指し、社会的自立や職業的自立そして自己実現を果たしていく力を育てる教育です。」

そのため、キャリア教育の内容は、小学部から高等部までの各段階に応じて、必要な時期に計画的に位置付けていくことが大切です。

### 2 これまでの経過

#### 平成22年度の取組

準ずる教育課程におけるキャリア教育

- 準ずる教育課程のキャリア教育の全体図の開発

#### 平成23年度の取組

知的代替の教育課程におけるキャリア教育

- キャリア教育実践ガイド項目の抽出

#### 平成24年度の取組

自立活動を主とする教育課程におけるキャリア教育

- 児童・生徒の願いをかなえるための個に応じた授業の展開

各教育課程において、肢体不自由の障害に起因する配慮事項を踏まえた「キャリア教育の全体図」を作成。

### 3 平成25年度の実施内容

#### 都立肢体不自由特別支援学校の課題

- ★ 都立肢体不自由特別支援学校においては、児童・生徒の障害が全般的に重度・重複化の傾向がある。
  - 約60%が「自立活動を主とする教育課程」で学び、約30%が「知的障害を併せ有する教育課程」で学んでいる。
- ★ 肢体不自由特別支援学校ごとに、作業学習や教科「職業」の取扱い(教育課程上の位置付け、指導時数、指導内容・方法等)に違いが見られる。
  - 肢体不自由特別支援学校における「職業教育」の具体的な在り方(教育内容・方法等)が明確になっていない。

#### キャリア教育の充実に向けて

- ★ 障害が重くても将来の「働く生活」(生産的活動)に必要な意欲や知識・技能の習得に向けた学習の機会を充実させていく必要がある。



- ★ 障害が重度・重複する生徒の「職業教育モデル」を提案する。

#### 方法

研究指定校5校において、主に「作業学習」の授業研究を行った。授業改善に当たっては、以下の3つの工夫を要件とした。

- 工程の分析
- 補助具の開発
- 環境の整理



※本実践研究では、上記の3点について、企業関係者や学識経験者等、外部の専門家の指導・助言を得ながら授業改善を進めました。28ページ以降の実践事例にある「専門家」とは、今回の実践研究に御協力いただいた外部の専門家等のことです。